

教科	地歴	科目	地理B			単位数	4
学科	普通科	履修学年	2	コース	文系	必修・選択	必修
教科書	『新詳地理B』（帝国書院） 『新詳高等地図』（帝国書院）						
副教材等	『新詳地理資料 COMPLETE 2019』（帝国書院） 「2019 データブック・オブ・ザ・ワールド」（二宮書店） 「新地理の研究」（啓隆社）						

学習目標		現代世界の地理的な諸課題を地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。					
指導の重点		現代の世界は、「グローバル化」「国際化」といわれるほど、さまざまな国との交流がめざましくなっている。そんな中お互いの国のことを理解することこそが大切な時代になっている。地理ではそれぞれの国での生活・文化を概観し、また課題を解決する力を養い、国際人として生きる力を身につけさせ指導する。					
学習計画	学期 (時数)	学習項目	学習内容(学習活動)			評価方法	
	1学期 (40)	I部 さまざまな地図と地理的 技能 1章 地理情報と地図 2章 地図の活用と地域調査	<ul style="list-style-type: none"> 世界の国々の国名・位置を確認する。 生活の舞台としての地形について、山地に住む人々と低地に住む人々の地形と生活のかかわりを画像等を通して考察する。 世界の地形について、営力的分類から大観し、それぞれの地形の特徴と災害と恩恵など人間生活への影響を考察する。 自然環境と生活についての基礎的事項を理解するとともに、自然環境と生活は密接に関係していることを理解する。 世界の気候について、その成り立ちを理解し、それぞれの気候区の特徴と農業など人間生活への影響を考察する。 日本の自然の特徴と人々の生活について、地形や気候の特徴と自然災害の特徴を理解するとともに、開発のあり方を考察する。 			提出物 授業の取り組み 定期テスト	
		2学期 (48)	II部 現代世界の系統地理的 考察 2章 資源と産業 3章 人口、村落・都市 4章 生活文化、民族・宗教	<ul style="list-style-type: none"> 産業の発達と変化について、自然環境とのかかわりやグローバル化の視点から考察する。 農産物の生産と流通について。農業地域区分を通して理解し、現代世界の農業の現状と課題および世界のなかでの日本の農業の課題を考察する。 エネルギーおよび鉱産資源の生産と消費について、その分布をつかみ、世界のエネルギー・鉱産資源の現状と課題および日本の資源問題を考察する。 			提出物 授業の取り組み 定期テスト
				<ul style="list-style-type: none"> 工業製品の生産と流通について、工業の発達や立地、世界の工業地域について知り、世界の工業の現状と課題および日本の工業の課題を考察する。 衣食住について、その地域的差異を理解し、衣食住と社会のかかわりや日 			

			本の衣食住の変化を考察する。 ・消費と余暇活動について、地域性と変化を理解し、日本の消費や余暇活動の現状と課題を考察する。村落と都市について、村落・都市の立地や発達・機能を理解し、日本の都市の特徴を考察する。	
	3 学期 (40)	Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 1 章 現代世界の地域区分 2 章 現代世界の諸地域	・地域区分でとらえる現代世界について、地域区分の目的と方法を考察する。 ・東アジアの国々の自然・歴史・社会・産業や、他地域とのかかわり等を取り上げ、地誌的に考察する。 ・東南アジアの国々の自然・歴史・社会・産業や、他地域とのかかわり等を取り上げ、地誌的に考察する。 ・南アジアの国々の自然・歴史・社会・産業や、他地域とのかかわり等を取り上げ、地誌的に考察する。 ・西アジアや中央アジアの国々の自然・歴史・社会・産業や、他地域とのかかわり等を取り上げ、地誌的に考察する。 ・北アフリカとサハラ以南のアフリカの国々の自然・歴史・社会・産業や、他地域とのかかわり等を取り上げ、地誌的に考察する。	提出物 授業の取り組み 定期テスト
計 1 2 8 時間 (5 5 分授業)				
評価規準と 評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用 の技能	知識・理解
	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとしている。	現代世界の地理的事象から課題を見だし、地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、追究した過程や結果を適切に表現しようとしている。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付けようとしている。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。
	[評価方法] 以上の観点をふまえ、授業の取り組み(授業態度・学習活動への参加状況など)、課題の内容、提出状況、定期考査などから、総合的に評価する。			
学習の ポイント	地理Bは、地名などを表面的に暗記すればよいという科目ではない。それぞれの国や地域がどのような環境におかれ、どのような文化をもち、どのような生活をしているのか、そしてそこに存在するさまざまな価値観を理解し、世界の諸問題に目を向け、理解・解決をしていく力を養おうと努力することが大切である。また、地図帳をいつでも開き、日々のニュース等に関心をもって現代の世界に大きなアンテナを張り、さまざまな知識や情報を積極的に得ようとする姿勢も大切である。			